

宮崎南支部 第31回定時総会 採択議案

第1号議案 2024年度(第30期)の活動を振り返って

1、はじめに

2024年度は、全国行事である第52回青年経営者全国交流会(以下、「青全交」)や、宮崎南支部地域で第33回みやざき中小企業フォーラムが開催されました。日頃の活動に加えて、この2つの学びの機会を生かし、自分自身や自社の成長に繋げていくという宮崎南支部の1年を振り返っていきます。

2、「具体的活動の展開」を振り返って

2024年度は、青全交とフォーラムを軸として、4回の例会(うち1回は地震のため中止)と2回のアイカツの日程を年度初めに決め、開催に向けて準備や案内を行っていきることができました。計画にはありませんでしたが、会員の取り組みを知る場として、アイカツ番外編を1回開催しました。

3、「例会」を振り返って

4回中2回は、青全交のプレ報告として計画しましたが、1回は2024年度8月8日に発生した地震によりやむを得ず中止となりました。翌日に開催予定だったプレ報告は、兵庫県からの報告者で、来宮の意志を確認したところ「青全交の報告とは関係ないが阪神淡路大震災のときの経験を少しでも伝えたい」と最大震度6弱が起きた翌日にも関わらず来宮していただきました。報告では、地震のことに触れつつ、愚直な経営指針経営の取り組みから学びを深めることができました。

11月例会では、宮崎南支部から3名輩出した青全交分科会の室長を報告者に、パネルディスカッションを行いました。青全交での経験の振り返りや学びを全体で共有することができました。

3月例会では、2025年度の「経営指針をつくる会」を受講する人を増やすことを目的に、指針経営の重要性をテーマとした内容で開催しました。グループ討論では、活発に交流することができましたが、「つくる会」の受講につながったのは1名に留まっています。

1年を通して、新しい報告者、座長、室長の選出がなかなかできず、「新しさや面白さが感じられない」などの声も聞こえました。2025年度はどう活動に関わってもらうかが課題です。例会への参加についても、支部会員の例会参加率は25.0%に留まりましたが、なかなか予定が合わず顔を合わせ

ていない会員さんや新会員の参加が少しずつではありますが増えてきました。

4、「アイカツ」を振り返って

宮崎南支部の活動として定着してきたアイカツを2回行いました。10月に行ったアイカツでは、宮崎市南消防署に伺って、防災・救命講話やAEDの講習体験を行いました。1月におこなったアイカツでは、ダイバーシティ経営について学びを深めました。また、計画にはありませんでしたが、会員から「自分の事業のことについて知ってもらいたい。知恵を貸してもらいたい」という声を受けて、番外編として会員の仕事を知ろうという目的で2回行いました。お互いの事業内容を語り、お互いを知ることができました。とても良かったという声が多く、2025年度も継続していきましょう。

5、「同友会を知る会」を振り返って

新会員オリエンテーションの意味合いも込め2回行いました。同友会を知る会では、「私と同友会」のテーマで同友会に入会して、自分自身・会社がどう変わってきたかを、(株) i・Rootsの山根尚さん、(株)アームの阿萬英一朗さんに体験報告をしてもらいました。同友会の歴史や理念の説明、経営体験報告等学ぶべきものがたくさんありました。

6、「第33回みやざき中小企業フォーラム」を振り返って

宮崎南支部地域で第33回みやざき中小企業経営フォーラムが開催されました。会場のキャパシティの関係で人数を制限しての開催となりましたが、3つの分科会と記念講演が行われ、良かったという声が多く聞かれました。フォーラムに参加されたゲストのうち2名が新しい仲間となりました。

7、「会員増強」を振り返って

81名からスタートし、入会6名(入会率7.4%)、退会9名(11.1%)で期首より3名減の78名となりました。新しい会員を迎えるにあたり、前半期は伸び悩みましたが、青全交の開催あたりからゲストへのお誘いが活発になってきました。2025年度もこの機運を継続できるかが重要です。

退会者が多かったことが一番の課題です。上記に述べたとおり、もっと会員さんを巻き込んでの活動づくりが課題です。

宮崎同友会のホームページ上にある会員マップの更新に取りかかれています。会員訪問時に登録してもらうこと、これを活用して会員同士の交流が活発化していくことが望まれます。

8、「幹事会」を振り返って

青全交・フォーラムと慌ただしい1年でした。会の運営に追われてしまった感があり、自主的に楽しくという雰囲気ではなかったように感じられます。2025年度は会運営のことも協議しながら、幹事が一番学べるということを意識していきましょう。

9、おわりに

同友会運動を広めていくこと、学び合うことに関して、何よりも準備の大切さを痛感した1年だったのではないのでしょうか。2025年度にむけて、入念な計画と行動のスピードをモットーにすすんでいけることを望みます。

2024年度(第30期)活動の記録

1. 支部会員数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月初会員数	81	81	81	80	79	79
入会数	0	0	1	0	0	0
退会数	0	0	2	1	0	1

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	78	78	79	77	76	78	
	1	1	1	0	2	0	6
	1	0	3	1	0	0	9

* 3月末会員数78名

2. 例会等の開催

第30回定時総会

5月27日(月) アルカーサルビエントスで 39名

7月同友会を知る会

7月19日(金) 宮崎市民プラザで 12名

「同友会を知ろう」

(株)i・Roots 代表取締役 山根尚氏

内訳：宮崎南11名(13.8%) + ゲスト1名

7月暑気払い

7月19日(金) 和膳旬彩つちやで 暑気払い13名

内訳：宮崎南12名(15.0%) + ゲスト1名

8月学習会

8月2日(金) 同友会センターで 5名

「企業変革支援プログラムVer. 2を活用しよう」

(株)ビューフィールド 代表取締役 前島崇志氏

8月例会

8月8日(木) Zoom会議

青全交第18分科会プレ報告は地震のため宮崎会場での開催は中止。Zoomでは開催。

「誰が為に～事業承継の先に見つけた人生の道標～」

富田肥料(株) 代表取締役 富田文平氏 (広島同友会)

8月例会(青全交第9分科会プレ報告)

8月9日(金) 宮崎市民プラザで 29名

「コミュニケーションのその先に！社員の自主性の発揮～経営指針書の実践による自主的社員の成長～」

(株)やないメディカルサービス

代表取締役 柳井寛之氏 (兵庫同友会)

内訳：宮崎南14名(17.7%) + 他支部10名 + ゲスト3名 + 他県同友会2名

10月アイカツ

10月18日(金) 宮崎市南消防署で 8名

「社員の命を守るのも経営者の務めです！防災・救命講話 & AED講習体験」

宮崎市南消防署 鎌田海生氏

11月例会

11月7日(木) 宮崎市民プラザで 24名

「この夏に得た学びを実践していく！」

パネリスト

(株)心耕農園 代表取締役 阿部章氏 (第18分科会)

(有)一政設備 代表取締役 一政浩蔵氏 (第9分科会)

(株)ビューフィールド 代表取締役 前島崇志氏

(第19分科会)

(株)オー・エム・シー 相談役 松山安則氏

(第7分科会)

コーディネーター

(株)カーオレンジ 代表取締役 南平義春氏

内訳：宮崎南22名(27.8%) + ゲスト2名

12月同友会を知る会

12月5日(木) 宮崎市民プラザで 23名

「同友会を知ろう」

(株)アーム 代表取締役 阿萬英一朗氏

内訳：宮崎南20名(25.0%) + ゲスト3名

12月望年会

12月5日(木) 二東三文で 25名

内訳：宮崎南22名(27.5%) + ゲスト3名

1月アイカツ

1月31日(金) (株)パームス企画で 12名

「実を結ぶダイバーシティ経営～新しい未来へ、共に輝く職場づくり」

宮崎県男女共同参画センター 所長 富山幸子氏

内訳：宮崎南10名(13.0%) + ゲスト1名 + 講師1名

2月アイカツ番外編

2月27日(木) BarBarrelで 9名

「みんなどんな事業をしてる？～みんなの事業を知り合う会～」

∞CREATE 代表 松浦健二氏

(株)ノチデ 代表取締役 松田温郎氏

3月例会

3月18日(火) 宮崎市民プラザで 49名
「経営指針をつくって1年～指針経営をどう進めてきたか?今後どう生かしていきたいか?～」

ナイフ宮崎 代表 内布省吾氏

内訳: 24名(30.8%) + 他支部22名 + ゲスト3名

4月アイカツ番外編

4月23日(水) Remyで 9名
「みんなどんな事業をしてる?～みんなの事業を知り合う会～」

Michi(株) 代表取締役 大高澄枝氏
P.F-Link(株) 取締役 崎村乃氏

学校との連携

7月12日(金) 宮崎第一高校で 7社8名
探究活動「課題研究」生徒と企業の顔合わせ会

12月12日(木) 宮崎第一高校で 15社17名
探究活動「課題研究」発表会

3. 幹事会の記録

- 第1回 5月27日(月) アルカーサルビエントスで
出席: 13名(100%)
- 第2回 6月6日(木) 同友会センターで
出席: 8名(61.5%)
- 第3回 7月3日(水) 同友会センターで
出席: 10名(76.9%) + 理事1名
- 第4回 8月2日(金) 同友会センターで
出席: 11名(84.6%)
- 第5回 9月4日(水) 同友会センターで
出席: 9名(69.2%)
- 第6回 10月3日(木) 同友会センターで
出席: 8名(61.5%)
- 第7回 11月7日(木) 同友会センターで
出席: 9名(69.2%)
- 第8回 12月5日(木) 宮崎市民プラザで
出席: 8名(61.5%)
- 第9回 1月9日(木) (株)パームス企画で
出席: 11名(100%)
- 第10回 2月5日(水) (株)パームス企画で
出席: 6名(54.5%)
- 第11回 3月6日(木) 宮崎市中央公民館で
出席: 9名(81.8%) + 来期幹事予定者1名
- 第12回 4月3日(木) (株)パームス企画で
出席: 9名(81.8%)
- 第13回 5月8日(木) 同友会センターで
出席: 8名(80.0%) + 来期幹事予定者1名

第2号議案

2025年度(第31期)の活動方針と活動計画

活動スローガン

成果につながる学び合いと実践

1. はじめに

昨今の社会情勢は我々中小企業にとってさらに厳しさを増す変化が多く、その結果、過去最高の企業倒産数を更新し続けています。このような逆風が吹き荒れる時だからこそ、同友会での学びの実践を通じた強靱な企業づくりが求められます。2025年度は、2024年度の青年経営者全国交流会、そして宮崎南支部地域でのみやざき中小企業経営フォーラムの開催で得た学びを実践に変える年です。全国や県内のたくさんの経営者との出会いを通して、多くの気づきや学びが我々の手元にあります。この学びを共に実践し、自社の成長につなげて、この厳しい時代を生き抜く成果に直結する活動を行い、支部や会員企業の活性化に結び付けていきます。

2. 具体的活動の展開

2025年度は会員それぞれの事業にフォーカスした活動を展開していきます。どのような場でもお互いの会社や経営の話ができる活動を意識し、悩みや課題を自分ひとりで抱え込まず、助け合える支部環境をつくっていきましょう。

(1) 例会

2025年度の例会では、学びの具体的実践につながる「企業変革支援プログラムVer.2」を年間を通して活用します。自社や経営者自身の立ち位置を再確認(定期的自己診断)し、「今後の取り組み」を明確化していき、具体的な自社実践につなげます。まずは支部総会時にオリエンテーション(全体説明)を実施し、そこからは企業変革支援プログラムに出てくる6つのカテゴリーを例会テーマとした6回の例会を行います。それぞれのカテゴリーは下記の通りです。

- ①「オリエンテーション」(宮崎南支部総会)
- ②「経営者の責任」
- ③「経営理念を実践する過程」
- ④「人を生かす経営の実践」
- ⑤「市場・顧客及び自社の理解と対応」
- ⑥「付加価値を高める」
- ⑦「企業の社会的責任」

県方針に沿って宮崎同友会会員の経営体験報告の場に

なる例会づくりを行い、グループ討論でお互いの経営課題を出し合い、「学びあう場」をつくっていきます。

(2) アイカツ

宮崎南支部らしい活動として定着してきた「アイカツ」では、従来通りの「会員の悩みに寄り添った勉強会」、「今日の企業経営・事業運営に必要な情報交流会」に加え、お互いの事業を知り合いコラボレーションづくりや交流を楽しむ場や地区での交流の場を年間3回開催します。

(3) 同友会を知る会

2024年度も好評だった形と同様に、8月と12月に「同友会を知る会」を開催します。会歴の浅い会員だけではなく、会歴の長い会員、ゲストの参加も積極的に推進し交流の場とします。広く会員に知る会での役を担ってもらい「語り部」を増やします。また2024年度の内容に加えて、景況調査の認知と必要性の理解度をあげていき、景況調査の回答率向上をめざします。

グループ討論では「経営」の話を率先して話し合しましょう。暑気払いや望年会を合わせて開催することで参加者を多く募り交流を深める場とします。

(4) 仲間づくり

上記の3つの活動を通じ、経営実践や交流を深めて支部の活性化につなげます。

- 2025年度宮崎南支部83名(純増5名)の会勢を計画します。
- 会員が一人増えるたびに学びの質が高まります。2025年度も多くの新しい仲間を迎えられるよう活動を発信していきましょう。役員だけではなく会員からの紹介も必要です。周りにいる経営者を誘って一緒に学ぶ仲間を増やしていきましょう。
- 現在、試験的に住所とは違う支部への入会が可能です。支部を超えて一緒に学び合うことができますので、近隣ではない知り合いの経営者も誘って学び合しましょう(2023年3月1日～2026年2月28日まで)。
- 同友会では、会員のことを辞書の1ページに例えることがあります。会員が増えることは辞書の厚みが増すことといわれますが、せつかくの辞書ですからもっと深く読み込み、理解し、お互いの経営にプラスになるよう会員一人ひとりの会社の特色やPRしたいことなどの情報をできるだけ多く集めていきます。
- その情報は宮崎同友会のホームページに会員マップとして掲載します。

会員訪問を行い、現在約4割の会員の取り組みや事業紹介ができています。今後、会員間の連携や販売促進につながるような会員マップとしてさらに整備していきます。

(5) 幹事会

幹事会には、様々な業種・年齢・性別の会員が集まり、それぞれの経験を幹事会の中で交流していきます。

幹事会の資料は最低2日前に全幹事に配布します。各幹事が事前配布資料に必ず目を通し、自分の考え、意見をまとめて幹事会に臨むことによって、会議の時間を短縮し、議論の質を向上させます。

- 円滑な会議の進め方やまとめ方など「運営」を学ぶ
幹事会の司会や議事録作成は、幹事が交代で担います。交代で役を担うことで円滑な会議の進め方、まとめ、「運営」に関しての様々な役割を、各幹事が学ぶことができ、各々が自社で実践します。

幹事会の司会、議事録の担当は幹事会の前に、代表幹事、相談役、事務局とで事前会議を行います。その場で、会議の肝の部分を確認、時間配分等を共有し、質の高い会議をおこないます。

- 組織のリーダーとしての学び
幹事会でのまとめや学びを会内や社内にもしっかりとアウトプットし、会員も社員も一丸となって活動できる組織のリーダー、語り部をめざします。
幹事の役割を再認識するためにも、役員研修会やグループ長研修に積極的に参加します。
- 運営の場をそれぞれの会社や経営課題をする機会として活用し、支え合う環境をつくっていきます。
- 宮崎同友会30年史を学び合う時間をつくり、歴史と理念を支部運営に活用できる幹事会にします。

(6) その他

宮崎第一高校の探究活動「課題研究」での連携(3年目)
宮崎市との交流会(地域づくり)への参加(2年目)

■活動計画

	4月	5月	6月	7月	
活 動	県総会	支部総会	例会	例会	アイカツ
日程予定	4月23日	5月20日	6月12日	7月18日	7月後半
テ ー マ			経営者の責任	経営理念を实践する過程	

	8月	9月	10月	11月	
活 動	同友会を知る会&暑気払い	例会	例会	フォーラム	アイカツ
日程予定	8月7日	9月10日	10月8日	11月7日	
テ ー マ		人を生かす経営の 実践	市場・顧客及び自社の 理解と対応		

	12月	1月		2月	3月
活 動	同友会を知る会 &望年会	新春経緯者交流会	アイカツ	例会	例会
日程予定	12月4日			2月10日	3月11日
テ ー マ				付加価値を高める	企業の社会的責任

MEMO

